

海洋スポーツ研究

第26号

大隅半島と海洋スポーツ



2021年3月

鹿屋体育大学海洋スポーツセンター

まえがき

【海洋スポーツ研究の発刊について】

鹿屋体育大学・海洋スポーツセンターは、我が国の海洋スポーツの発展に寄与する人材の育成、学術情報の発信を主な目的として活動しています。また、人々を海辺へ誘うきっかけとなる、施設開放事業にも取り組み、海洋スポーツの普及振興に努めています。本報告書の作成も重要な活動の一環であり、本報告書が海洋スポーツの教育・研究に携わっておられる方々との情報交換の材料となることを願って、毎年継続して発刊しています。本年度より、本報告書の内容については、鹿屋体育大学リポジトリにて公開することといたしました。

【海洋スポーツ研究第26号掲載概要】

第1部には、2020年度の協力者会議の会議録を掲載しました。テーマは、将来的に大隅半島＝マリンスポーツとなることを夢みて、広義に解釈できる「大隅半島と海洋スポーツ」としました。講師には未来観光株式会社の村山寛光氏をお招きし、「大隅半島西海岸の水辺活動・マリンスポーツ振興について」と題して話題提供いただいております。参加者は、近隣の海洋スポーツ施設で事業を展開する方が多く、様々なご発言をいただきましたが、引き続きより具体的な情報交換・意見交換の場を設け、交流を継続して行くことで概ね合意がなされております。その内容と参加者との議論が掲載されています。

第2部は、本年度の当センターの活動状況や研究活動の報告です。令和二年度に実施された、授業と各種事業の報告、学生の卒業研究の抄録を掲載しています。

第3部は、寄稿・投稿集です。編集委員会を設置し、寄稿に関する規定は巻末に掲載されています。海洋スポーツに関する各種情報についてお寄せください。

本年度は、重点プロジェクト事業「海洋スポーツによる地域発イノベーションの創出および地域連携の充実」の一部として作成された「海洋スポーツ活動による安全の心得」が掲載されています。第24号より取り組み・掲載を開始したものです。海洋スポーツ活動の指導者の立場に立って編纂した、「SUP技術指導マニュアル(24号)」、「カヌー技術指導マニュアル(25号)」と合わせて、ご一読いただき、様々なご意見を賜れば、大変ありがたく思います。

第4部は、管理運営資料です（リポジトリへの掲載はありません）。

【結語】

今後も、当センターでは、すべての活動における安全確保を基本とし、大隅半島はもとより、我が国の海洋スポーツの振興に寄与できるよう、様々な取り組みを推進してまいります。ぜひご一読いただき、忌憚ないご意見をいただけると幸いです。

鹿屋体育大学海洋スポーツセンター長

中 村 夏 実

目 次

まえがき

第1部 令和2年度鹿屋体育大学海洋スポーツセンター協力者会議

研究テーマ：「大隅半島と海洋スポーツ」

開会の挨拶 松下 雅雄（鹿屋体育大学学長）	1
協力者発表 「大隅半島西海岸の水辺活動・マリンスポーツ振興について」 村山 寛光 氏（未来観光株式会社 代表取締役）	3
質疑応答	15

第2部 令和2年度鹿屋体育大学における海洋スポーツ関連報告

第1章 授業報告	21
第1節 体育学部	
第2節 大学院体育学研究科（修士課程）	
第2章 事業報告	
第1節 重点プロジェクト事業（産学官連携推進）「海洋スポーツによる 「地域発イノベーションの創出」および地域連携の充実3」	24
1. 事業概要	
2. 実施報告	
（1）海洋スポーツプログラムの実施への協力	
（2）海洋スポーツの心身への健康増進効果	
（3）地域事業者との連携体制	
第2節 教育プロジェクト	26
1. 海洋スポーツ活動のための指導者育成関連講習会	
第3節 研究プロジェクト	26
1. 生涯スポーツとしての SUP(スタンドアップパドルボード)運動が 体力に及ぼす影響	
2. カヌースプリント競技・ボート競技の効果的トレーニングメニュー の検討	
3. セーリング競技における指導者用テキストの作成	
4. スタッフの研究業績	

第4節 地域連携・貢献プロジェクト 29

1. 鹿屋体育大学公開講座

(1) 公開講座：秋口まで楽しもう！楽しいマリンスポーツ

(2) 公開講座：KIDSのための楽しいマリンスポーツ

～夏休み最後の思い出を作ろう！～

(3) 公開講座：楽しいスキューバダイビング（初級者編）

2. マリンフェスタ in かのや

3. 鹿屋カップオープンヨットレース

4. 鹿屋体育大学長杯オープンヨットレース

第5節 その他 32

1. 海洋スポーツセンター協力者会議

2. 教職免許更新講習会

3. 外部団体海洋スポーツ実習および海洋スポーツ体験等の受け入れ

(1) 鹿児島南高等学校体育科野外活動

(2) 鹿屋市立高須小学校ヨット学習

4. 海洋スポーツ関連種目における競技力関連支援事業

(1) 鹿児島県内高校・大学ヨット部による合同練習会

(2) 鹿屋体育大学ウインドサーフィン部による練習会

5. その他施設利用

(1) あいら子供の家 海洋スポーツ体験

(2) 国立大隅青少年自然の家 海洋スポーツ体験（海からのメッセージ）

第3部 海洋スポーツ研究（投稿・寄稿）

<実用資料・マニュアル>

海洋スポーツ活動における安全に関する知識 36

<実証・資料研究>

大学女子ボート選手におけるオール角度と力学的データの活用

～実践現場におけるオールロック型簡易測定装置の試用事例～ 67

<卒業研究抄録> 73

「海洋スポーツ研究」寄稿規定 79

第4部 令和2年度海洋スポーツセンターにおける管理運営資料

第1章 令和2年度海洋スポーツセンター運営管理経費	81
1. 予算	
2. 支出	
3. その他	
第2章 令和2年度海洋スポーツセンター利用者数	82

編集後記

編集後記

海洋スポーツセンター協力者会議の会議録、海洋スポーツセンターの関連報告を掲載した「海洋スポーツ研究 第 26 号」が完成致しました。各事業へのご参加にご協力頂きました多くの皆様に心から御礼を申し上げます。

令和 2 年度は、コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、事業内容の変更・中止を余儀なくされました。これまでの日常が様変わりし、多くの事を考えさせられる日々となりました。さらには、東日本大震災から 10 年が経過しました。日々、海というゲレンデを活用している私達にとって、安全面、楽しみの追求は、終わりなく続くテーマであります。身近にあるすばらしいゲレンデやハード面をいかに活用していくかは、私達の役目であると肝に銘じ、明るく楽しみ事ができる海洋スポーツの世界を広げて行きたいと思えます。

発刊にあたり、ご協力頂きました関係各位の皆様方に感謝申し上げるとともに、今後ともご協力賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

(榮樂洋光 記)

編集委員会

中村夏実（編集委員長）¹⁾、榮樂洋光¹⁾、坂口陽平¹⁾、吉武 裕²⁾、松下雅雄³⁾

¹⁾ 鹿屋体育大学海洋スポーツセンター ²⁾ 鹿屋体育大学体育学部（第 9 代海洋スポーツセンター長） ³⁾ 鹿屋体育大学学長（第 4 代海洋スポーツセンター長）

* 本報告書についての問い合わせ等がございましたら、下記までお願いいたします。

〒893-0054 鹿児島県鹿屋市高須町 2457 鹿屋体育大学海洋スポーツセンター

TEL : 0994-47-2758 FAX : 0994-47-2756 E-MAIL : kaispo@nifs-k.ac.jp